

県総合教育センター生徒指導・特別支援教育部では、日ごろの教育活動において先生方が子どもたちに行っている支援や対応について、知りたいことを調査させていただきました。この動画は、調査結果で上位になりました「対人関係・コミュニケーション」に対する指導、支援について特に大切と思われることを15分程度でまとめたものです。

ご覧いただき、今後の指導、支援に役立てていただければ幸いです。

1

ここが知りたい！ クラスの中の気になる子の 指導・支援

～対人関係・コミュニケーションについて～

長野県総合教育センター 生徒指導・特別支援教育部

2

こんな子いませんか？

- ・友達と協力して行う活動が難しい
 - ・友達というより一人でいることを好む
 - ・相手の気持ちや状況を考えずに一方的に話す
 - ・友達とのトラブルが多い
- (ちょっかいを出す、からかわれる)



3

「困った子」を「困っている子」ととらえ、背景を考える

- 指示やルールが理解できず、自分がその場で何をすればよいのか役割を捉えられない。
- 自分の興味・関心を大事にしている。
- 自分の気持ちを伝えられない、相手の気持ちや場の雰囲気が読み取れないなど、適切な会話の仕方がわからない。



4

「困った子」を「困っている子」ととらえ、背景を考える

- 友達と仲良くしたいが、どうやって関わってよいのかわからず、不適切な関わりになっている。
- 言葉通りに受け取ってしまい、会話がかみ合わない。
- 目に見えづらい特徴や苦手さが周囲から理解されず、そのストレスから過敏に反応しトラブルになっている。



5

クラスの子どもたちを思い浮かべながら、
その姿の背景について考えてみましょう。



6

指導・支援を考える



「困っている」子どもの気になる部分の改善

子ども同士のかかわりの改善・促進

その前に



子どもを取り巻く周囲の環境を見直す

教師の関わり

教室の環境

7

指導・支援のポイント

「安心して学習・活動できる環境づくり」を目指して

- 1 環境を整える
- 2 必要なスキルを育てる
- 3 苦手さを理解する



8

Ⅰ 環境を整える① - 指示の出し方

重要!

明確でわかりやすい指示

- | | |
|---------------|----------|
| × 大声 | ○ 穏やかに |
| × 長い話 | ○ 短く |
| × 歩きながらの指示 | ○ 一定の場所で |
| × 活動中の追加・別の指示 | ○ 計画的に |

9

Ⅰ 環境を整える① - 指示の出し方

- | | |
|-----------|--------|
| × こそあど言葉 | ○ 具体的に |
| × あいまいな表現 | ○ 肯定的に |

- 【例】「それをあそこに」 → 「食器を前のかごに」
- 「ちゃんと並びなさい」 → 「白い線の上に並びましょう」
- 「〇〇が終わらないと、休み時間にならないよ」 → 「〇〇が終われば、休み時間になるよ」

10

Ⅰ 環境を整える② - 見て分かる

授業の流れ



活動の流れ

◆話し合いのしかた◆

- ① 順番を決める
- ② 自分の書いたシートを見ながら発表
- ③ 感想を付せんに書く
- ④ 付せんを見ながら発表する
- ⑤ 付せんに友達に渡す

11

Ⅰ 環境を整える② - 見て分かる

掃除の仕方

【黒板そうじのやり方】

- ① 黒板の字を消す
- ② 黒板の白い部分をもう一度消す
- ③ 黒板の溝を雑巾でふく
- ④ 黒板消しをクリーナーにかける

ルール

【聞き方のルール】

- あ いてを見て
- い っしょうけんめい
- う なずいて
- え がおで
- お わりまで きこう

12

1 環境を整える ② - 見て分かる

提出物



ロッカー・棚の整頓



掃除用具の片づけ方



文房具



13

2 必要なスキルを育てる① - 学級全体で

朝の会・帰りの会で

テーマを決めて話す
話す順序

聞く姿勢



いつ
どこで
だれが
何を
した



体を向ける
あいづち
うなずく
最後まで聞く

14

2 必要なスキルを育てる② - 学級全体で

各教科で

会話を続ける

気持ちや意見を伝える

〇〇の話だけど

そうなんだ

私はちょっと違うよ

考え中

もう一回言って

なるほどね

これでいいかな？

いい考えだね

これ貸して

僕にはちょっと難しいかな

ありがとう

手伝って

やってくれる？



15

2 必要なスキルを育てる③ - 学級全体で

関わりを広げる

興味・関心のある活動で、人と関わる意欲を育てる



16

2 必要なスキルを育てる④ ー 個に応じた

状況の理解

こんな時どうする？

重い



人を傷つける言葉

言葉の使い方

〇〇くん、
太ってるよね



相手の気持ちの理解

相手の気持ち

あのね
それでね

もう、行かなく
ちやいけない



17

3 苦手さを理解する

感覚刺激の受け取り方による苦手さが隠れていることも

不快

怖い

光刺激



チカチカ



大きな音や声



大勢の人



特定の味



ザワザワ



ベタベタ

18

3 苦手さを理解する

何が原因か探り、環境設定を見直す

「このくらいは耐えられるだろう」と楽観することは**禁物**

耳栓・
イヤマフ



大声指導

安心できる時間・
場の確保



19

まとめ

成功体験を積めるようにする

共に成長する集団に

・一人一人の「良さ」や「違い」を認め合う

学級が安心できる居場所に

・前向きな取り組みが認められる
・失敗やできないことは周囲に相談する



20

「あれ？」うまくいかない時は



➤ **背景をもう一度探る**

どんな時に、どのような状況で、どのような行動が起こるのか丁寧に観察する。

➤ **背景から指導・支援を見直す**

指導・支援の方法、声のかけ方など、子どもに合っているか。

➤ **相談する**

複数の目で見てみる。



21

参考に見てみましょう ①

リーフレット「子どもを支えるために～子ども理解を考える～」



22

参考に見てみましょう ②

信州“Basic”～ビジュアル版～



「環境を整える」に関連して



23

参考に見てみましょう ③

発達障害児等を支える指導・支援事例集

通常の学級や特別支援学級等における連続的で多様な教育対応等についての県下の取組を掲載



合理的配慮実践事例集

一人一人の実態に応じた「合理的配慮」の提供により、周りの子ども達と同じスタートラインに立ち、生き生きと学ぶ県内の事例を紹介



24

各校の研修での活用について

➤ 感じたことや、取り組んでみたいことを
同僚と話し合ってみましょう。

- 環境を整える視点で
- 必要なスキルを育てる視点で
- 一人一人の「良さ」や「違い」を認め合う
安心できる環境づくりの視点で



25

参考文献

- ・「発達障害児等を支える指導・支援事例集」 長野県教育委員会
- ・「教室・家庭でいまずぐ使えるソーシャルスキルトレーニング
楽しく学べる特別支援教育実践101」 安住ゆう子 三島節子 かもがわ出版
- ・「LD・ADHDへのソーシャルスキルトレーニング」 小貫悟 名越斉子 三和彩 日本文化科学社
- ・「ガイドブック 通常の学級における特別な教育的ニーズのある子どもへの支援
こだわりの強い子・コミュニケーションの苦手な子 自閉症のある子のために」 千葉県総合教育センター
- ・「育てよう！ソーシャルスキルを学校で 学級づくりにも役立つ
ソーシャルスキルトレーニングの活用法」 三重県教育委員会事務局研修分野
- ・「障害特性の理解と支援」 本庄特別支援学校 自立活動部
- ・「自閉症スペクトラムの子のソーシャルスキルを育てる本 思春期編」 監修 本田秀夫 日戸由刈 講談社

26